

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：環境政策課
 担当名：計画推進・環境影響評価担当
 内線：3039 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B2	環境科学国際センター分析研究機器整備事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境科学国際センター費		
事業期間	令和3年度～ 令和7年度	根拠 法令	環境基本法第36条			針路 分野施策	10 1007	豊かな自然と共生する社会の実現 公害のない安全な地域環境の確保	SDGsゴール SDGsターゲット	13, 6, 3, 12, 11, 15, 13-1, 13-2, 6-3, 3
1 事業の概要	環境の常時監視や、重大・緊急な環境問題の速やかな原因究明、新たな環境問題への対応など、センターに期待される役割と機能を果たしていくために、研究機器の整備を行う。 環境科学国際センター分析研究機器整備事業費 △7,360千円			5 事業説明 (1) 事業内容 環境科学国際センター分析研究機器整備事業費 旧公害センター時代から移管あるいはセンターの設立に際して購入した機器のうち故障や機能低下が著しいもの、並びに、環境政策の推進やセンター中期方針を考慮した研究遂行上必要な機器について、5か年(令和3年度～7年度)で計画的に更新、修繕(部品の追加を含む)及び新規購入し、センターの分析研究機能の維持を図る。 ア 全有機炭素計 8,492千円 → 8,250千円 イ 紫外可視吸光度計 3,850千円 → 2,728千円 ウ DNAシーケンサー 11,340千円 → 9,504千円 エ パージ&トラップ装置付きGC/MS 18,900千円 → 14,740千円 (2) 事業計画 5か年計画(令和3年度～7年度) 令和3年度 ①デジタルPCR、②LC/MS/MS、③フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR) 令和4年度 ①有機炭素計、②紫外可視光度計、③DNAシーケンサー、④パージ&トラップGC/MS 令和5年度 ①高分解能GC/MS 令和6年度 ①蛍光X線分析装置、②GC/MS 令和7年度 ①イオンクロマトグラフ、②ガス暴露装置、③オープントップチャンバー (3) 事業効果 市町村等からの依頼による分析対応が的確にできる。 (4) 補正予算の概要 分析機器の購入による契約差金に伴う減額 △7,360千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費(細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費(積算内容) 環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし										
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△7,360	県債						△360	35,222	
現計額	42,582		42,000					582		

事業内訳書

事業名	環境科学国際センター分析研究機器整備事業費		
単位事業名	環境科学国際センター分析研究機器整備事業費	予算額	△ 7,360千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
備品購入費	△7,360	—	契約差金による減
合計	△7,360	—	